

8-12		主題	インフルエンザ感染ゼロ！5年間の取り組み	
感染予防		副題	お客様も職員も家族もそして地域も一緒に	
研究期間	60ヶ月	事業所	特別養護老人ホーム フローラ石神井公園	
発表者：高橋秀幸、藤原功治			アドバイザー：渡邊 玲子(わたなべ れいこ)	
共同研究者：				
電話	03-3996-6600	メール	<a href="mailto:soudanin@flora.or.jp">soudanin@flora.or.jp</a>	
FAX	03-3996-5551	URL	<a href="http://www.flora.or.jp/">http://www.flora.or.jp/</a>	

今回発表の事業所やサービスの紹介	平成15年開設、90床の特別養護老人ホームです。福祉事業の多様化を受けて、地域の方々にどのようなサービスが提供できるのか、またどのようなサービスが求められているのか根本的に考え、福祉事業を行う法人として社会的な見地から、それぞれのニーズにあったより質の高いサービスを選定し、豊かな生活の礎を作るお手伝いをしていきます。
------------------	---

<p>《研究前の状況と課題》</p> <p>開設してから2年後、感染した家族が持ち込んだインフルエンザが大流行した。死亡するお客様はいなかったが2度罹患されるお客様もあり、ショートステイの受け入れを中止せざるを得ない事態となった。これを受け当施設ではインフルエンザの感染対策を看護師、感染対策委員を中心に施設全体での取り組みを行なった。</p>
--

<p>《研究の目標と期待する成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員、家族の感染対策への意識づけを図り施設一体となってインフルエンザの施設内の蔓延を防止する。</li> </ul>
--

《具体的な取り組みの内容》

1. 感染予防としての方針

新型インフルエンザに対して

- ・指針を早くに立ち上げている
- ・イベント時来訪者の対応を徹底（検温、健康状態のチェック）
- ・インフルエンザの対応マニュアル作成
- ・小さな子供の面会制限
- ・地域の小中学校と連携し情報を把握する
- ・職員の健康管理、家族が発症した職員の対応

2. 環境整備

- ・換気の徹底
- ・殺菌水を使用しての手すりの消毒

3. 職員の意識付け

- ・手洗い、うがいの徹底
- ・職員研修の開催

《取り組みの結果と評価》

- ・18年度より職員、職員の家族に発症者はみられたものの、施設内での感染はなく、お客様が発症されることはなかった。
- ・面会制限もご家族に理解をいただき、徹底ができています。
- ・手洗い、うがいについては職員研修でも毎回とりあげ、職員にも「1行為1手洗い」が意識付けできています。
- ・季節を問わず換気を時間をかけ行っているが、お客様からも理解されている言葉を頂いている。
- ・5年間の発症0件という成果が職員のモチベーション向上につながった。

《まとめ》

毎年の施設の取り組みに成果があったと思われるが、ご家族、地域の皆様のご協力、ご理解をいただいた結果であったと感謝したい。季節を問わない新型インフルエンザが発生し、今後インフルエンザ対策は年間を通しての予防対策が必要であると考えます。今後もインフルエンザゼロを目指し、ノロウイルス、疥癬等他の感染症対策にも力をいれていく。

《提案と発信》

手洗い、うがい、毎日の換気など細かなことではありますがその積み重ねが5年の実績をつくりあげたものと思っています。施設だけの取り組みとしてではなくご家族、地域を巻き込んでの感染症対策を考えることが大切と考えます。

【メモ欄】